

第105号

中学生特集



発行 学校法人 藤枝学園
藤枝明誠中学校・高等学校
渉外課広報担当
TEL (054) 635-8155
FAX (054) 635-8494
【URL】 https://www.fgmeisei.ed.jp
【Email】 meisei@fgmeisei.ed.jp



修学旅行の3泊4日の経験を通して公共の場でのマナーや社会性・協調性を学ぶことができた。
香村に移動し、班ごとレンタサイクルを借り、修学旅行の3泊4日の経験を...

行程 (Itinerary) table with dates from 10月19日 to 10月22日, including bus routes and activities.

今回の修学旅行では生徒自身が主体的に計画・行動し、修学旅行を進めることのできる17期生らしい行動であった。
4日間と長い研修であったが、これまでの経験...

修学旅行の学びと経験 (J32HR 堀之内小出身 杉浦 煌獅)
修学旅行と聞くと楽しいだけの研修だと思いが今回はいろいろな学びと経験があった。
今回の研修ではバスで各地をまわる研修に加え...

修学旅行の学びと経験 (J22HR 高洲小出身) 山田 浩太
私たちが中学2年生は1泊2日のオータムキャンパスで、関西方面に行きました。
将来の進路選択の興味・関心を高め、集団としての協調性・社会性を養うことを目標に、研修に臨みました。

過去から現在、そして未来へ (J31HR 吉田町立中央小出身) 山口 秋星
京都、奈良といえど日本古都。両都市とも清水寺や東大寺といった歴史的な建造物が数多く存在し、その佇まいは厳かで、これまでに積み重ねてきた歴史を感じさせます。
そんな日本の歴史を体現した街を私たちは訪れ、その町にもソテツの名所や旧跡の数の多さです。私の町にもソテツの巨木や町のシンボルとして約30年前に作られた小山城の模擬天守があります。
京都・奈良にはあちらこちらに教科書や資料集で見た寺社仏閣などがあります。古都の風格を感じました。
また、今回の修学旅行中の班行動で私たちのグループは和菓子作りを体験しました。体験先の先生から、人生の大切さを学びました。
2日目は立命館大学やヤンマーの見学をしました。立命館大学では、大学生活や学部について話を聞き、校内の見学をしました。
この2日間の研修では、大学や企業見学を通して様々なことを学ぶことができました。これからの将来について考えていきたいです。

明誠中学17期修学旅行
日本の伝統を学ぶ
京都奈良三泊四日の旅
藤枝明誠中学17期生は、「宇治平等院鳳凰堂」へ向かった。極楽浄土を再現した優雅な建造物に、感嘆した。その後、「奈良公園」に移動し、親しみやすいガイドのもと、「興福寺・東大寺」を見学した。その威容を誇る東大寺の大仏は、やはり見応えのあるものであった。
2日目はまず「法隆寺」を見学した。現存する世界最古の木造建築や歴史の資料集に掲載されている文化をじかに堪能することができた。午後は明日香村に移動し、班ごとレンタサイクルを借り、修学旅行の3泊4日の経験を...



地域探訪で得たもの (J12HR 島田第三小出身) 北川 晴都
地域の歴史や課題に理解を深めた
私たち中学1年生は、10月21日に地域探訪に行きました。目的は久能山東照宮と沼上資源循環学習プラザです。
久能山東照宮見学では歴史の建造物の見学を行いました。建造物はとても荘厳で、徳川家の偉大さを感じさせるものでした。そこから江戸時代の伝統を感じるこゝろが、より一層歴史への理解を深めることができました。沼上資源循環プラザでは、いすゞの環境問題についてのお話を聞きました。ごみ問題や環境問題についてもお話を聞きました。ごみ問題では処理方法が課題となっており、環境問題では自然破壊が行われているという現状があります。このことから僕は、こうした課題を自分の問題として考えることの重要性を再認識できました。
このようにことから、僕は物事を様々な視点でとらえることを学び、その学びを日常でも生かしていきたいです。

過去から現在、そして未来へ (J31HR 吉田町立中央小出身) 山口 秋星
京都、奈良といえど日本古都。両都市とも清水寺や東大寺といった歴史的な建造物が数多く存在し、その佇まいは厳かで、これまでに積み重ねてきた歴史を感じさせます。そんな日本の歴史を体現した街を私たちは訪れ、その町にもソテツの名所や旧跡の数の多さです。私の町にもソテツの巨木や町のシンボルとして約30年前に作られた小山城の模擬天守があります。京都・奈良にはあちらこちらに教科書や資料集で見た寺社仏閣などがあります。古都の風格を感じました。また、今回の修学旅行中の班行動で私たちのグループは和菓子作りを体験しました。体験先の先生から、人生の大切さを学びました。2日目は立命館大学やヤンマーの見学をしました。立命館大学では、大学生活や学部について話を聞き、校内の見学をしました。この2日間の研修では、大学や企業見学を通して様々なことを学ぶことができました。これからの将来について考えていきたいです。

サッカー部

大応援を背に明誠魂を発揮

本気の先に見える景色



31HR(相良中出身) 増田七翔

私達サッカー部は11月に行われた第100回静岡高校サッカー選手権大会に出場しました。昨年の第99回大会では初戦から苦しい試合が続きましたが最後の最後まで諦めることなく戦った結果、静岡県大会を優勝することができ4年ぶり3度目の全国大会への出場権を得ることができました。全国大会ではベスト16敗退と悔しい結果に終わってしまいましたが全国という大舞台を経験できたことは新チーム始動時の強みでした。ですが、昨年と同等の成績を残さな



応援を力に試合に臨んだ

のみとなってしまいました。最後まで全員で頑張ろうと強い意志を固め冬の選手権を迎え結果はベスト4と最大の目標であった2連覇にはあと1歩届きませんでした。それ以上に価値のあるものを得ることができたと思います。心からの応援、本当にありがとうございます。

芸術鑑賞教室

JPOP エンターテインメントバンドを楽しむ



昨年はチェロ、一昨年クラシックを中心に鑑賞POPエンターテインメントバンドという新しいジャンルを銘打ち、ソウルやファンク、ジャズなどを取り混ぜた独自のサウンドを構築している「二人目のジャイアン」の皆さんを迎えた。「二人目のジャイアン」さんは、「聴く者の心を揺らす」をコンセプトに、映画の主題歌や、海外のエナジードリンクのテーマソングを提供するなど、

演奏活動以外にも活動の場を広げている。今回の芸術鑑賞教室は、「二人目のジャイアン」オリジナルソングから始まり、流行の歌謡曲を用いてファンク、ボサノバ、ジャズ、ロックなど音楽のジャンルについて解説をするなど文化的要素も加わった。前半の最後に本校の校歌や第二応援歌「目指せ天極」をアレンジして演奏してください。歌声が聞こえ、盛り上がりを見せた。そして、後半にはコール&レスポンスや振りも加わり、会場全体が一体になって楽しんでいこうと思う。コロナ禍で多くの施設



210HR(明誠中出身) 村松佳香

射撃部 集中力磨き東海大会優勝 全国大会出場を決める

11月14日三重県営ライフル射撃場で開催された秋季東海地区高等学校ラ

イフル射撃競技大会のエアライフル60発競技に参加しました。この試合で上位2名が3月の全国高等学校選抜大会に出場できます。昨年は一年生ということもあり、勝敗よりも60発集中して撃つことを目標にしました。その結果、全国大会に出場する権利を獲得することができました。

今年私は私が出場生徒の最高学年です。私は射座に入る前から緊張していました。今回は一撃一撃丁寧に撃つことだけを考え、撃つ後1秒その姿勢でいるという基本を忘れないようにしました。いつもより時間をかけて撃つので、満足できる点数で優勝することができました。3月の選抜大会は、基本的に一撃一撃同じリズムで撃てるように練習します。また、リズムが乱れた時は、一度休んで心を落ち着かせて再スタートができるようにします。そして、ぜひ入賞したいと思っています。



24HR(若松中出身) 松尾拓人

パワー・オブ・ザ・ドリーム 佐藤圭太選手の話に感動

僕たちはこの「パワー・オブ・ザ・ドリーム」を通してたくさんの方を学びました。もちろん優勝できたことは嬉しい

のですが、僕はバラリンピックで活躍された佐藤圭太選手の話聞いてとても感動しました。小さいころに病気で片足を失った佐藤選手は、毎日毎日努力してバラリンピックという目標を諦めず、夢を実現することができました。佐藤選手は「大切な

なのは夢を実現させることではなく、夢を持ち、それに向かってコツコツ努力をすることである」と言っていました。その言葉にとっても共感でき、自分を見直す良いきっかけになりました。また、自分が毎日健康な生活を送れていることに改めて感謝の気持ちを持つこともできました。これからも僕は自分の夢に向かって毎日コツコツと前進を続けていきたいと思っています。



32HR(富士宮第一中出身) 遠藤千晟

成長を実感も一歩届かず 合言葉は「Family」

「Family」、夏の合宿からチームの合言葉になった。新型コロナウイルスの影響で、試合は機会を設け、協力していただいたこと、そして楽しんでくださった皆さんに心から感謝したい。

は何だろうか、と考える時期もありました。まずはチームが1つであることが最低条件でウィンターカップに向けて日々練習に励みました。ある日、練習の最後に日下部先生から「恩返し」という言葉が出てきました。その時に自分の頭の中に2年前のウィンターカップ決勝が思い浮かびました。昨年同様、準備は万全にしました。準々決勝の沼津中央戦、準決勝の浜松開誠館戦と保護者を初めとし、OBの先輩方、一般生徒の皆様、多くの方々が会場に足を運んでくださり



チーム一丸となり県予選も戦った



J22HR(豊田小出身) 小岩慶多

焼津市民大会優勝 剣道部 努力と自信

私は小学1年生の時に剣道をはじめましたが、中学生になるまでは、ともに勝てず、目標もなく剣道が続いていました。昨年、明誠剣道部に入ってから、新しい環境の中、先生方から剣道の楽しさを教わりました。少しずつ自分の剣道に自信をもちはじめた頃、焼津市民大会に出場しまし

た。強豪大井川中の生徒も出場すると聞いて楽しみにしていました。中学の活動日でも無い日にも、部活に行き、先輩方にも稽古をつけてもらいました。又大会当日、準々決勝では中体連で負けた相手に勝つことができ、決勝は大井川中の生徒と戦い、勝利できました。嬉しかったです。後で先生方、先輩に「おめでとう」と言ってもらい更に嬉しかったです。努力、稽古、感謝の大切さを再確認できた経験になりました。

オープンキャンパス 昨年を上回る来場者

11月11日(木)から13日(土)まで、毎年恒例のオープンキャンパスが行われた。例年、前期、後期の2回に分けて実施しているが、コロナ禍のため、昨年同様今年も後期のみ開催となった。3日間の総来場者数は369名であり、昨年度より61名の増加であった。13日には、高校説明会も同時に開催された関係で、予想を上回る来場者があった。期間中には、授業の参観の他、中学生対象「福祉のお仕事～魅力発見セミナー～」と題する講義や、中学2年女子・高校2年普通科女子対象「乙女塾」などの催しがあり、多数の見学者があった。高校3年生は受験に向けた授業が展開され、大学合格を目指す生徒達の様子を、熱心に参観する様子が見られた。

英語体験学習会



作った作品を手に記念撮影

10月30日(土)に小学生4、5年生対象の英語体験学習会が本校図書室で行われ54名の児童が参加した。ハロウィーンが題材とされた今回の体験では、前日から本校生徒の力を借り、図書室に手の込んだ飾り付けが成され訪れる者を魅了した。参加者はハロウィーンに関連する英単語等を学び、その後グループ毎にパズル、フォトブース、言葉探し、神経衰弱、お絵かき等の活動を楽しんだ。学習指導要領の改訂があり、小学校3、4年生から「外国語活動」が導入されたこともあり、参加児童はネイティブ講師の説明を容易に理解し、笑顔が絶えない充実した体験学習会となった。